

# 心不全におけるトルバプタン投与の臨床的意義に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究対象期間：2018年11月2日～2019年12月31日**

**〔研究課題〕** 急性心不全による入院患者におけるトルバプタン投与の臨床的意義の検討

**〔研究目的〕** 急性心不全の患者さんに対する新しい利尿剤トルバプタンの効果を検証します。

**〔研究意義〕** 急性心不全の患者さんは腎臓にも障害があることが多く、従来の利尿剤を中心とした治療に反応が悪かったり、腎臓の機能がさらに悪化したりすることがあります。我が国で2010年から他の利尿薬に反応しない心不全の患者さんに保険適応となったトルバプタンは、腎臓にある抗利尿ホルモンというホルモンの受容体に結合し、水のみを排泄させる（水利尿）利尿剤です。トルバプタンは、電解質や腎機能に影響を及ぼすことなく、比較的速やかに水利尿と体重減少をもたらすと報告されており、特に、腎臓に障害のある患者さんにおいてその効果が期待されています。本研究は当院に急性心不全で入院した患者さんにおいて、トルバプタンを投与されたグループと従来の利尿剤で治療されたグループを比較することで、急性心不全患者に対するトルバプタン投与の意義を検討する後ろ向き観察研究です。

**〔対象・研究方法〕** 2016年1月1日から2017年12月31日までに当院循環器科に入院した急性心不全の患者さんのうち、維持透析の患者さんを除いた方々について、お薬を投与した後の体重、腎機能、入院期間、退院後にまた心不全で入院されたかどうか、また入院された場合は退院から再入院までの期間などの情報を収集し、解析します。

**〔研究機関名〕** 帝京大学ちば総合医療センター

**〔個人情報の取り扱い〕**

取得された個人情報は匿名化され厳重に保管されます。また、研究終了後は、研究終了時から10年間帝京大学臨床研究センターに保管されたのちに復元不可能な方法で削除または廃棄されます。

**〔その他〕** 本研究に参加することで追加の費用がかかることはありません。

**対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座 主任教授 中村 文隆

研究分担者：帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座 助教 吹野 恵子

住所：市原市姉崎3426-3 TEL：0436-62-1211 （代表）〔内線 5095 〕